

病院の概要

- 病床数 829床
- 医師数 (研修医を除く) 359名 (うち指導医数 134名)
- 研修医数 1年目 34名 2年目 30名
- 研修医の主な出身大学 埼玉医科大学・弘前大学・信州大学・川崎医科大学・東京大学・日本大学・島根大学・愛知医科大学・藤田保健衛生大学・金沢医科大学
- 診療科 血液内科 リウマチ膠原病科 呼吸器内科 消化器内科 肝臓内科 内分泌内科 糖尿病内科 神経内科 脳卒中内科 腎臓内科 総合診療内科 感染症科 感染制御科 消化器 一般外科 乳腺腫瘍科 小児外科 麻酔科 小児科 新生児科 産科 婦人科 整形外科 脊椎外科 眼科 耳鼻咽喉科 神経耳科 皮膚科 脳神経外科 形成外科 美容外科 泌尿器科 リハビリテーション科 神経精神科 心療内科 放射線科 放射線腫瘍科 核医学診療科 中央病理診断部 輸血 細胞移植部 健康管理センター 東洋医学診療科 歯科 口腔外科 急患センター (ER)
- 1日平均外来患者数 2024.0名 ● 1日平均入院患者数 768.9名
- 主な認定施設 日本医療機能評価機構認定病院、特定機能病院、肝疾患診療連携拠点病院、エイズ診療拠点病院、災害拠点病院



研修プログラムの特色

3病院自由選択プログラムは、ローテーションする診療科について“自由度が高く、研修医の希望を最大限に取り入れる”当院で最も人気のあるプログラムです。本学の違った特色を持つ3つの大学病院(総ベッド数2,600床)の診療科で自由に研修を行うことができる、オーダーメイドプログラムです。

研究マインド育成自由選択プログラムは、3病院自由選択プログラムと臨床研修内容は一緒ですが、研修を行うと同時に大学院に入学することが可能で、研修を行いながら、大学院生としての講義、研究を行う充実したプログラムです。

総合医育成広域連携病院自由選択プログラムは、総合医を目指す研修医に適したプログラムです。バランス良く診療科を経験でき、プライマリケア医としての対応能力に優れた“総合医”の育成を目指します。

周産期・成育医療専門医自由選択プログラムは、将来周産期医療・成育医療を専攻する希望のある研修医を対象に、自由選択期間を最大限に活用した特別プログラムです。将来の専門医取得にも有利な、より専門的な内容まで踏み込んだ指導を行います。

外科系プログラムは、外科専門医取得に重点をおき消化器外科は必須として心臓外科、呼吸器外科、乳腺外科、小児外科での研修を選択できるプログラムです。今後の専門医取得に向けた後期研修にスムーズに移行できるプログラムとなっています。



プログラム例 埼玉医科大学 3病院自由選択プログラム (募集定員35人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	導入研修	内科研修(6か月)						救急研修(3か月)			選択必修研修(2か月)	
2年目▶	地域医療研修	自由選択研修(11か月)										

※1年目 必修研修として内科6か月間、救急部門3か月間、選択必修研修(外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科のうち2診療科を選択し各々1か月間)

※2年目 地域医療研修1か月間、それ以外11か月間は自由選択研修(最終月は埼玉医科大学病院において研修)

- その他 埼玉医科大学 研修マインド育成自由選択プログラム (募集定員6人)
 埼玉医科大学 総合医育成広域連携病院自由選択プログラム (募集定員7人)
 埼玉医科大学 周産期・成育医療専門医自由選択プログラム (募集定員4人)
 埼玉医科大学病院 外科系プログラム (募集定員3人)

研修医の処遇

- 給与▶約25万円/月
- 諸手当▶日当直手当
- 保険▶公的医療保険、公的年金、労災保険、雇用保険
- 勤務時間▶8時30分～17時30分
- 当直▶あり 4回/月(診療科により、多少異なります)
- 休暇▶原則、1月9休制の1か月単位の変形労働制
有給休暇(1年次:10日 2年次:11日)
- 宿舎▶あり(0.7万円/月、光熱水費込)
- その他▶白衣貸与(クリーニングは病院負担)、研修医個人専用の机、ロッカー、シャワールーム、仮眠室完備、電子カルテ、共用PC(インターネット接続可能)

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・長崎県6施設
- ・北海道2施設
- ・沖縄県1施設
- ・新潟病院
- ・たむら記念病院(千葉県)
- ・越生メディカルクリニック
- ・小川産婦人科・小児科
- ・新渡戸記念中野総合病院(東京都)
- ・丸木記念福祉メディカルセンター
- ・シャローム病院

当院の魅力

大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで

埼玉医科大学病院は埼玉県の西部を中心とした地域の医療を担っていると同時に、特定機能病院として埼玉県全域の医療も担当しています。埼玉県は東京都に隣接しており、人口も730万人を数え首都圏に位置し多くの患者さんが来院されます。大学病院の専門性の高い疾患からプライマリケアまで、多くの疾患を経験できるという特徴があります。埼玉医科大学病院には新しい専門医制度にマッチした総合診療内科やアイセンター、てんかんセンター、難病外来等特徴ある診療科も充実しています。また、スキルスラボや臨床研修医のための施設も充実しており、より良い環境豊かな自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さで研修が可能です。

大学病院3病院で約2,600床、さらに3病院の連携の良さは皆さんに最高の研修環境を提供いたします。皆さんは、この3病院から自分の目的にあった診療科での研修を組むことができます。また、セキュリティー完備の研修医室、そこには研修医専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。熱心な指導医と臨床研修センターも自慢です。



研修責任者から

研修医諸君！埼玉医科大学病院は君たちを待っています！

初期研修の目的は「患者さんを全人的に診療する為の基本的な能力を身につけ、プライマリケアに対応できる総合診療能力を養う」事にあります。初期臨床研修に携わる2年間は将来の臨床医としての能力を左右する、最も重要な期間です。



副院長、研修管理委員長
中元 秀友

埼玉医科大学病院は、地域に根ざした重要な基幹病院であり、たくさんの患者さんが来院されます。また大学病院として、最先端の医療を実践しています。そしてたくさんの指導医が、熱心に研修医諸君の臨床研修、研究等に協力してくれます。豊富な症例と熱心な指導医の下、充実した臨床研修が出来る事を保証します。確実に実力がつく研修施設なのです。また緑あふれる自然と1時間で東京に行けるアクセスの良さは、最高の研修環境を提供してくれます。セキュリティー完備の研修医室には研修医の皆さんに専用のデスク、ロッカー、当直室、シャワールーム等が完備されています。是非とも一度見学に来てください。お待ちしております。

先輩研修医から

当院は大学病院であるため幅広い診療科を擁し高度な医療を提供する一方で、研究や教育にも力をいれています。週1回の研修医向けセミナーや各種講習会等様々な教育の場があります。一方で県内広域の地域医療を担う存在でもあり、一般症例から珍しい症例まで幅広く経験でき、上級医の丁寧な指導のもと多くの手技も経験できます。また、研修プログラムが多彩で、「進路が決まっているから重点的に学びたい」とか「悩んでいるから幅広く研修したい」、「早くから大学院で学びたい」といったあらゆるニーズに対応できるようになっています。研修として埼玉医科大学3病院の診療科も自由に選択できます。



研修医2年目
遠藤 琢也

自然あふれた環境にありながら都心へのアクセスもよく、休日も充実して過ごせます。研修医の人数もちょうどよく、出身大学にかかわらずみな仲良く研修しています。2018年度の新専門医制度の導入に際して、大学病院での研修を一度検討いただきたく思います。埼玉で研修をお考えの方は、是非一度見学にお越しください。

女性医師支援コーナー

埼玉医科大学病院では院内保育園を設置しており、医師が短時間勤務で正規雇用と同等の処遇で働ける制度があり、女性医師に関する情報提供、アンケートの実施、シンポジウム開催等の活動を行っています。さらに、出産、育児、介護のために休業予定の医師に対して復職に必要な情報を提供し、医師として働き続けたい女性をサポートする目的で、女性医師就業継続支援窓口を設け各病院に担当者を配置しており、女性サポートに関する相談であれば、男性の相談も受け付けています。

連絡先

埼玉医科大学病院

臨床研修センター事務室

〒350-0495 入間郡毛呂山町毛呂本郷38

TEL 049-276-1862(直通) FAX 049-276-2149

E-mail kenshui@saitama-med.ac.jp

URL <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html>

アクセス JR八高線毛呂駅から徒歩3分/東武越生線東毛呂駅からバス5分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学(随時受付)

当院ホームページに掲載の見学申込書をダウンロードの上、必要事項を記入し、見学希望日2週間前までに臨床研修センター事務室へE-mail(添付)又は郵送でお申し込みください。